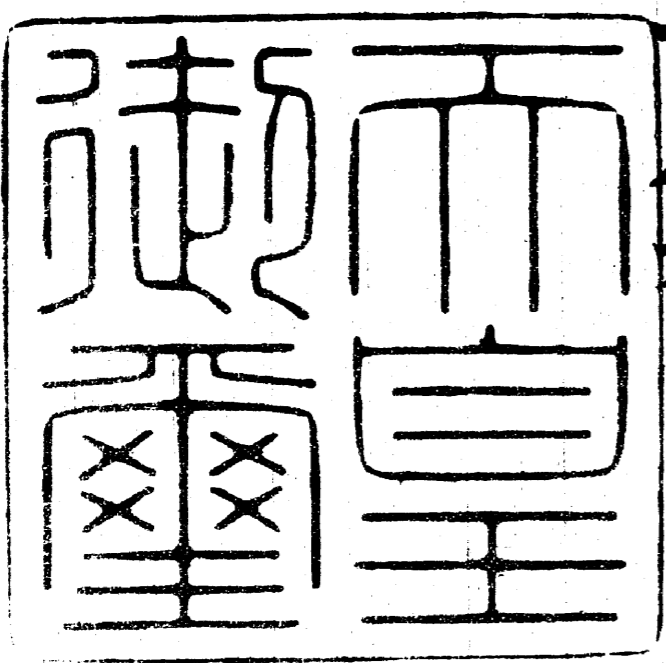


勅令第九十一號

朕關東州海運統制令ヲ裁可シ  
茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十九年二月十八日

内閣總理大臣 東條英機  
 運輸通信大臣 八田嘉明  
 大東亞大臣 青木一男

勅令第九十一號

關東州海運統制令

第一條 關東州國家總動員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル國家總動員法（以下該法）總動員法ト稱ス）第八條ノ規定ニ基ク船舶、船體、船舶用機器、航裝品、其ノ部品若ハ軍用品（以下船舶等ト稱ス）ノ製造若ハ修繕、海運關係事業ノ用ニ供スル物資ノ譲渡其ノ配ノ處分、使用、消費若ハ保有又ハ海運關係事業ニ於ケル貨物ノ移動ニ關スル命令、同法第十六條ノ規定ニ基ク海運關係事業ニ關スル設備ノ設計、擴張又ハ敷設ノ制限、同法第十六條ノ規定ニ基ク海運關係事業ニ關スル設備又ハ權利ノ讓渡其ノ他ノ處分、消費又ハ使用ニ關スル命令及同法第十六條ノ三

ノ規定ニ基ク海運關係事業ノ開始、委託、共同經營、讓渡、廢止若ハ休止又ハ海運關係事業ヲ營ム會社ノ合併ニ關スル命令ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ海運關係事業トハ左ニ掲グル事業ニシテ滿洲國駐劄特命全權大使ノ定ムルモノヲ謂フ

一 船舶ニ依ル人若ハ物ノ運送、船舶ノ貸渡又ハ其ノ運航ノ委託ヲ爲ス事業

二 船舶等ノ製造又ハ修繕ヲ爲ス事業

三 船舶ノ運航、製造又ハ修繕ニ必要ナル多種類ノ物品ノ販賣ヲ爲ス事業

四 船舶ノ救助、引揚又ハ解撤ヲ爲ス事業

五 船舶ニ依ル人若ハ物ノ運送又ハ船舶ノ貸渡若ハ賣買ニ關スル仲立ヲ爲ス事業

六 海上運送ニ附隨シテ貨物ノ船積又ハ陸揚ノ爲荷捌、積卸又ハ解船若ハ曳船ニ依ル運搬ヲ爲ス事業及此等ノ作業ノ請負ヲ爲ス事業

本令ニ於テ貸渡又ハ借受トハ船舶ニ付テハ期間儲船ヲ含ムモノトス

第三條 海運關係事業ヲ開始セントスル者ハ大使ノ定ムル所ニ依リ該開始ニ付大使ノ許可ヲ受クベシ

第四條 大使海運關係事業整備ノ爲必要アリト認ムルトキハ海運關係事業ヲ營ム者（以下海運關係事業者ト稱ス）ニ對シ其ノ事

業ニ屬スル設備若ハ權利若ハ其ノ事業ノ用ニ供スル物資ノ讓渡、讓受、貸渡若ハ借受ヲ命ジ又ハ其ノ事業ニ屬スル設備ノ使用ニ關シ其ノ方法ノ改善其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依ル命令ヲ受ケタル者ハ他ノ法令ニ拘ラズ讓渡又ハ貸渡ヲ爲スコトヲ得

第五條 前條ノ場合ニ於ケル讓渡又ハ貸渡ノ條件ハ當事者間ノ協議ニ依ル

前項ノ協議ハ大使ノ認可ヲ受ケルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ  
第一項ノ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ大使之ヲ裁定ス

第六條 大使海運線事業整備ノ爲必要アリト認ムルトキハ海運

關係事業者ニ對シ其ノ事業ニ屬スル設備又ハ權利ノ出資ヲ命ズルコトヲ得此ノ場合ニ於テ大使ハ出資ノ相手方ニ對シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第四條第二項及前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十條 海運線事業者其ノ事業ノ全部若ハ一部ノ讓渡、廢止若ハ休止又ハ其ノ事業ニ關スル設備ノ讓渡、貸渡、新設、擴張若ハ改良ヲ爲サントスルトキハ大使ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ヲ受ケベシ

第八條 大使ハ其ノ定ムル所ニ依リ海運線事業者ニ對シ其ノ事業ノ用ニ供スル物資ノ使用、消費若ハ保有ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ讓渡、貸渡其ノ他ノ處分、使用、消費若ハ保有ノ制

限若ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第九條 大使ハ海運關係事業ニ對シ規格ヲ指定シテ船舶等ノ製造ヲ命ジ若ハ範圍ヲ指定シテ船舶等ノ修繕ヲ命ジ、指定シタル規格若ハ範圍以外ノ船舶等ノ製造若ハ修繕ヲ制限シ若ハ禁止シ又ハ船舶等ノ製造若ハ修繕ニ付順位ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第十條 船舶等ノ製造又ハ修繕ヲ爲サントスル者ハ大使ノ定ムル所ニ依リ當該製造又ハ修繕ニ付大使ノ許可ヲ受クベシ  
本令施行地外ニ船舶等ノ製造又ハ修繕ノ注文ヲ爲サントスル者ハ大使ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ大使ニ届用ツベシ

第十一條 第四條第一項又ハ第六條第一項ノ規定ニ依ル譲渡、貸

渡又ハ出資ノ命令ヲ受ケタル者ハ譲渡、貸渡又ハ出資ニ支障ヲ及ボス虞ナキ場合ヲ除クノ外大使ノ許可ヲ受ケルニ非ザレバ當該設備、權利又ハ物資ノ譲渡、貸渡其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

第十二條 第四條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ設備、權利若ハ物資ノ譲渡ヲ受ケタル者又ハ第六條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ設備若ハ權利ノ出資ヲ受ケタル者當該設備、權利又ハ物資ニ付譲渡、貸渡其ノ他ノ處分ヲ爲サントスルトキハ大使ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ヲ受クベシ

第十三條 海運關係事業ニ關スル設備若ハ權利又ハ海運關係事業ノ用ニ供スル物資ニ關シ強制競賣手續、明治四十年勅令第五十

六號ニ於テ準用スルコトヲ定メタル國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續、關東州土地收用令ニ依ル使用若ハ收用ノ手續又ハ國家總動員法第十三條ノ規定ニ基ク使用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限リ當該設備、權利又ハ物資ニ關シテハ第四條第一項、第六條第一項若ハ第八條前段ノ規定又ハ第九條中船舶等ノ製造若ハ修繕ヲ命ズル規定ハ之ヲ適用セズ

第十四條 工場財團ニ屬スルモノハ第四條第一項又ハ第六條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ讓渡又ハ出資アリタル後ト雖モ仍舊財團ニ屬スルモノトス  
前項ノ場合ニ於ケル登記ニ關シ必要ナル事項ハ大使之ヲ定ム

第十五條 大使ハ第四條第一項又ハ第六條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ基キ設備、權利又ハ物資ヲ讓渡シ又ハ出資シタル者ヲシテ第十六條ノ規定ニ依リ債務ノ全部ノ承繼アリタル場合ヲ除クノ外讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者ガ擔保權ノ實行ニ因リ受ケルコトアルヘキ損失ノ補償ニ充ツル爲大使ノ定ムル所ニ依リ相當ノ擔保ヲ供託セシムルコトヲ得  
讓渡又ハ出資ヲ受ケタル者前項ノ規定ニ依リ供託セラレタルモノノ上ニ質權ヲ有ス

第十六條 大使ハ第四條第一項又ハ第六條第一項ノ規定ニ依リ設備又ハ權利ノ讓渡又ハ出資ヲ命ジタル場合ニ於テ讓渡シ又ハ出資シタル者ヲシテ當該設備又ハ權利ヲ擔保トスル債務ヲ引續キ

内閣

負擔セシメ置クコトヲ適當ナラズト認ムルトキハ國家總動員法  
第十八條ノ二ノ規定ニ基キ大使ノ定ムル所ニ依リ讓渡又ハ出資  
ヲ受ケタル者ヲシテ當該債務ノ全部又ハ一部ヲ承継セシムルコ  
トヲ得

第十七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 大使海運關係事業整備ノ爲必要アリト認ムルトキハ海  
運關係事業者ニ對シ其ノ事業ノ全部若ハ一部ノ委託、受託、共同  
經營、或ハ若ハ讓受又ハ會社ノ合併ヲ命スルコトヲ得

第十四條第二項、第十五條及第十一條乃至前條ノ規定ハ前項ノ規定  
ニ依リ事業ノ讓渡又ハ讓受ノ命令アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條第二項、第十五條及第十一條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依リ事

業ノ委託、受託若ハ共同經營又ハ會社ノ合併ノ命令アリタル場  
合ニ之ヲ準用ス

第十八條 第五條（第六條第二項、第十六條第二項及前條第二項

第三項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ決議又ハ裁定ニ基キ會社  
カ事ノ讓渡、合併其ノ適當該決議又ハ裁定ニ於テ定メラレタ  
ル事項ノ實行ヲ爲サントスルニ付株主總會又ハ之ニ準ズルキチ  
ノ決議、同意等ヲ以テ要スル場合ニ於テ其ノ決議、同意等ヲ  
得ルコト能ハサルトキハ會社ハ大使ノ認可ヲ受ケ當該事項ノ實  
行ヲ爲スコトヲ得

第十九條 大使海運關係事業整備ノ爲必要アリト認ムルトキハ海  
運關係事業者ニ對シ其ノ事業ノ全部又ハ一部ノ廢止又ハ休止ヲ

命ズルコトヲ得

第二十條 關東州、内地、朝鮮又ハ臺灣ニ行ハルル法令ニ依ル日本船舶（以下日本船舶ト稱ス）ニ非ザル船舶ヲ借受ケ又ハ其ノ運航ノ委託ヲ受ケントスル者及日本船舶ニ非ザル船舶ニ依リ大使ノ指定スル物資ヲ運送セシメントスル者ハ大使ノ定ムル所ニ依リ當該借受、受託又ハ運送ニ付大使ノ許可ヲ受クベシ

第二十一條 大使ハ航路若ハ區域ヲ指定シ若ハ一般的ニ船舶ヲ指定シテ航海ヲ制限シ若ハ禁止シ又ハ一般的ニ人若ハ物ヲ指定シテ其ノ運送ヲ制限シ若ハ禁止スルコトヲ得但シ他ノ法令ニ基キテ爲サルル別段ノ處分ノ效力ニ妨ゲズ

第二十二條 大使海上輸送ノ圓滑ヲ爲ル爲必要アリト認ムルトキ

ハ海運關係業者、運送取扱業者、荷送人若ハ荷受人又ハ此等ノ者ノ團體ニシテ貨物ヲ指定シテ其ノ取扱ヲ爲スベキコトヲ命ジ又ハ貨物ノ取扱ノ方法、噸位、運日、期間若ハ數量ニシテ必キナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 國家總動員法第二十條ノ規定ニ基キ賠償スベキ損失ハ第八條、第九條又ハ第十九條ノ規定ニ依ル處分ニ因リ通常生ズベキ損失トス

損失賠償請求ノ時期其他損失賠償ニ關シ必要ナル事項ハ大使之ヲ定ム

第二十四條 大使必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ海運關係事業者若ハ其ノ團體ヨリ其ノ事業ニ關



シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、船舶、工場其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第二十五條 大使ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ關東海務局長ニ委任スルコトヲ得

第二十六條 大使第三條乃至第七條、第九條乃至第十二條、第十七條又ハ第十九條乃至第二十一條ノ規定ニ依ル處分ヲ爲サントスルトキハ其ノ重要ナルモノニ付豫メ運輸通信大臣ニ協議スベシ

#### 附 則

本令施行ノ期日ハ大使之ヲ定ム

關東州船舶製造等統制令ハ之ヲ廢止ス但シ本令施行前ニ爲シタル行爲ニ關スル罰則ノ適用ニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

附則